

## 親のための10の心得

(デンマークサッカー協会：サッカーをする子どもを持つ保護者に向けての10カ条参考)

1. 出来る限り、試合や練習を見に行ってください。子どもはそれを望んでいます。
2. 試合では全ての子どもを応援してあげましょう。自分の子どもだけではありません。
3. 良い時だけでなく悪い時も勇気づけてあげましょう。批判してはいけません。
4. コーチの指導、選手起用については尊重しましょう。コーチの判断に圧力をかけるようなことをしてはいけません。
5. レフリーの判定を批判してはいけません。
6. 子どもにプレッシャーをかけるのではなく、プレーに参加させることを刺激し、勇気づけてあげましょう。
7. 試合の後は結果の話だけでなく、覚えているプレー、楽しかったシーン等についても話し合しましょう。
8. 節度を守り、分別のある行動をとりましょう。何事も度を越してはいけません。
9. クラブの運営には尊敬の念を持って接しましょう。  
保護者と指導者間のミーティングでは、明確な指針を持ち、どのような態度で子どもに接するのかを話し合しましょう。
10. サッカーをプレーしているのは子どもたちです。決してあなた自身ではありません！

おとなのみなさんへ（スイスサッカー協会のキッズサッカー用の掲示ポスターより抜粋）

「僕達の試合を観に来てくださってありがとうございます。また、いつも僕達のスポーツ活動を応援していただきありがとうございます。

今日という日は僕たちの一日です。僕たちはサッカーを思う存分やろうと喜んでここに来ました。勿論、誰だって勝ちたいに決まっています。でも、一番大切なことはプレーが出来るということです。だから、どうか僕達の思うようにプレーさせて下さい。

ピッチのそばで怒鳴らないで、相手チームや彼らのサポーターに対してフェアでいて下さい。ミスプレーをいちいちなじらないでください。僕達はしょんぼりするだけで、何の役にも立ちません。」

すべてのこどもより

## F ユース (U-9) の子どもからパパへの手紙

(スイスサッカー協会から。子ども向けサッカー絵本の前文、パパへの手紙 抜粋)

パパ、

パパがこないだピッチの外に置いてあったゴールによじ登ってレフェリーに文句を言ったでしょ。あの時、僕はすごく頭にきて泣きそうになったんだ。あんな怒り方、今まで見たことなかったよ。たぶん、レフェリーが間違っただとは思う。でも、僕がたとえパパの言うように「レフェリーのせいで」試合に負けたんだとしても、そんなことはどうでもよくて、僕はとっても楽しかったんだ。わかってほしいんだ、パパ。僕はプレーしたい、それだけなんだよ。僕は楽しみたいんだ。だから、僕がプレーをしているときには、「パスしろ！」とか「シュートだ！」とか、叫び続けるのはやめて。パパの言うことはあっているのかもしれないけど、僕が緊張してしまうんだ。

パパ、もう一つあるんだ。試合中にコーチが僕のことを交代させても、怒らないで。僕は、ベンチにすわってみんながプレーしているのを見るのだって楽しいんだよ。僕らは大勢いるし、みんながプレーしなきゃだめでしょ。それから、僕にサッカーシューズをきれいにするやりかたを教えてください。僕のなんだからパパがやってくれなくていいんだ。僕が自分でできるようにならなきゃいけないんだよ。それからスポーツバッグは僕が自分で持ちたいんだ。バッグにはチームの名前が書いてあるから、僕がサッカー選手だってまわりのみんながわかるだろ？ 僕、それが好きなんだ。

パパ、お願い。試合の後にママに「今日は勝った」とか「負けた」とかって話すのはやめて。ママには僕がとっても楽しんでたって伝えてほしいんだ。それから、僕がすごいシュートを決めたから勝った、って言うのもやめてね。だって、そうじゃないんだもの。僕がシュートを決めたのは、仲間が僕に良いパスをくれたからなんだよ。勝ったのは、僕らのチームのゴールキーパーが必死に相手のシュートを防いでくれて、チームの仲間が全員でせいっぱいがんばったからなんだ。(コーチが僕らにそう教えてくれるんだ) 怒らないでね、パパ。こんなことを書いてしまったけど。

僕、パパが大好きなんだ。練習に遅れてしまうので、これでおしまいにするね。練習に遅刻すると、今度の試合にはじめから出してもらえないんだよ。じゃあね。